

フランクリン・テンプレトン・ユーロ毎月分配型ファンド

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第250期(決算日2023年 6 月19日) 第251期(決算日2023年 7 月18日) 第252期(決算日2023年 8 月18日)
第253期(決算日2023年 9 月19日) 第254期(決算日2023年10月18日) 第255期(決算日2023年11月20日)

作成対象期間(2023年5月19日～2023年11月20日)

第255期末(2023年11月20日)	
基準価額	7,279円
純資産総額	1,933百万円
第250期～第255期	
騰落率	11.7%
分配金(税込み)合計	30円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は四捨五入して表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「フランクリン・テンプレトン・ユーロ毎月分配型ファンド」は、2023年11月20日に第255期の決算を行いました。

当ファンドは、ユーロ建債券への投資で得られるインカムゲインにより、ユーロ短期金利水準の分配を毎月行い、ユーロ原資産元本の安定した運用成果を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

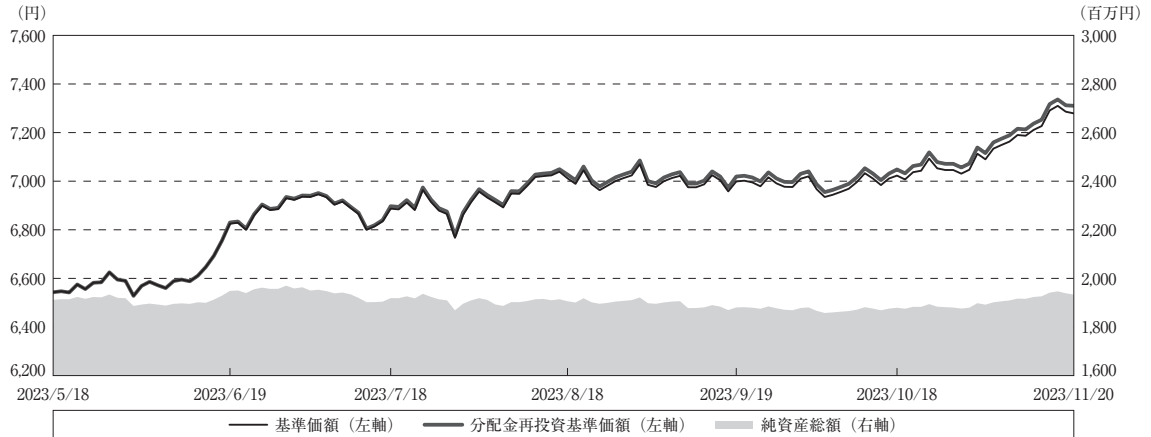
(営業日の9:00～17:00)

<https://www.franklintempleton.co.jp>

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2023年5月19日～2023年11月20日)



第250期首：6,543円

第255期末：7,279円 (既払分配金(税込み):30円)

騰落率：11.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2023年5月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)は、プラス(分配金再投資ベース)となりました。公社債利金を手堅く確保したことに加え、公社債損益がプラスとなりました。また、為替損益についても、ユーロ・円相場がユーロ高・円安となったことから、プラスとなりました。

1万口当たりの費用明細

(2023年5月19日～2023年11月20日)

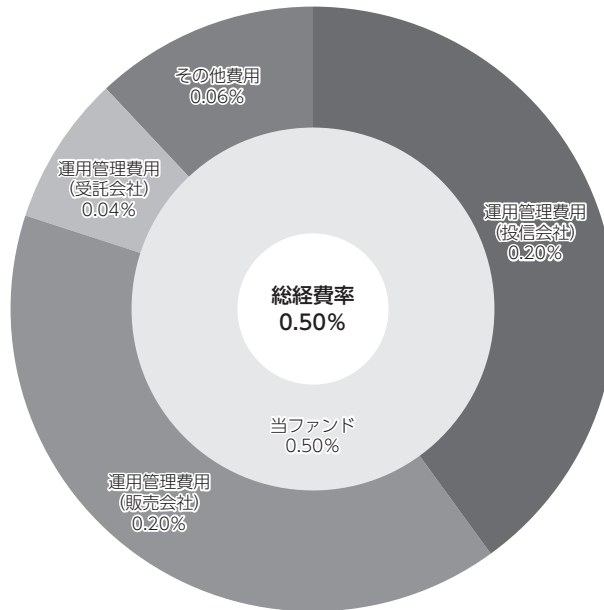
項 目	第250期～第255期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	15 (7) (7) (2)	% 0.224 (0.101) (0.101) (0.022)	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0 (0)	0.002 (0.002)	(b) 売買委託手数料 = 作成期間の売買委託手数料 ÷ 作成期間の 平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
(c) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷等費用) (そ の 他)	2 (0) (0) (1) (0)	0.032 (0.007) (0.006) (0.019) (0.000)	(c) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益 権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保 管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付 および届出に係る費用 金銭信託預入に係る手数料等
合 計	17	0.258	
作成期間の平均基準価額は、6,919円です。			

- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.50%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

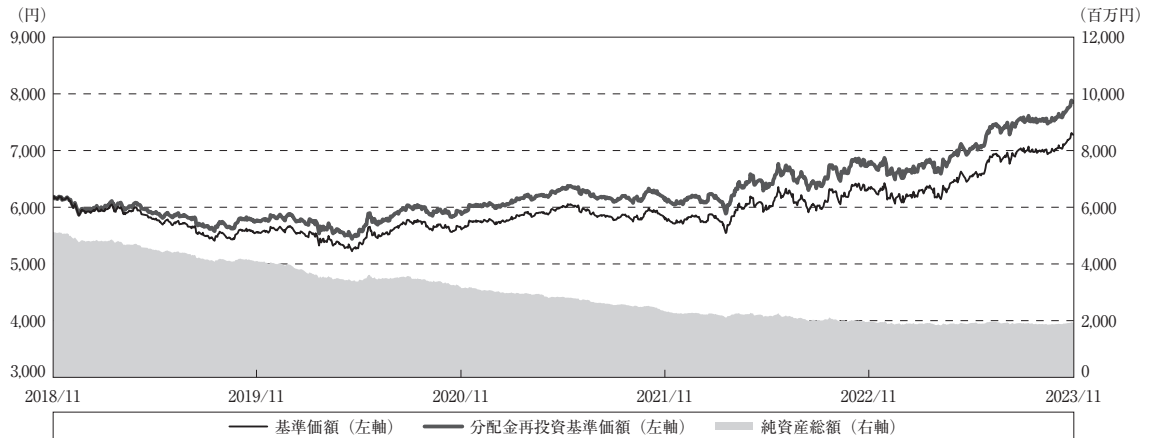
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年11月19日～2023年11月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2018年11月19日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年11月19日 決算日	2019年11月18日 決算日	2020年11月18日 決算日	2021年11月18日 決算日	2022年11月18日 決算日	2023年11月20日 決算日
基準価額 (円)	6,172	5,563	5,627	5,785	6,352	7,279
期間分配金合計(税込み) (円)	-	210	60	60	60	60
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	△ 6.5	2.3	3.9	10.9	15.6
純資産総額 (百万円)	5,125	4,103	3,159	2,322	1,965	1,933

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

投資環境

(2023年5月19日～2023年11月20日)

当作成期の欧州債券市場は、利回りが上昇（価格は下落）しました。

期の前半は、方向感の定まらない展開となりました。欧州中央銀行（ECB）の利上げ観測が続いたことが利回りの上昇要因となりましたが、ユーロ圏の購買担当者景気指数（PMI）が市場予想を下回り、ユーロ圏景気の弱さが注目された場面では、利回りが低下（価格は上昇）しました。

期の半ばは、底堅い米経済指標結果を受けた米国国債利回りの上昇が、ドイツ国債利回りの上昇を促しました。一方、ユーロ圏のPMIが市場予想を下回り、ユーロ圏経済の不振が改めて意識されたことは、ドイツの利回りの上昇を抑制する要因となりました。

期の後半は、米連邦準備制度理事会（FRB）やイングランド銀行（英中央銀行、BOE）が政策金利を据え置いたものの、さらなる利上げの可能性を示唆し、米国および英国で国債利回りが上昇したことなどから、ドイツの国債利回りも上昇しました。その後は、ドイツやフランスのPMIが低下し、景気後退への警戒感が広がったことなどが利回りの低下要因となりました。

欧州社債セクターについては、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）が縮小しました。

当作成期のユーロ・円相場は、ユーロ高・円安となりました。

期の前半は、ユーロ圏と日本の金融政策の方向性の違いに着目したユーロ買い・円売りが優勢となりました。ECBは利上げを継続した一方、日銀は大規模な金融緩和策の維持を決定しました。

期の半ばは、方向感の定まらない展開となりました。ECBによる金融引き締めが景気を冷やすとの懸念から欧州の株価が軟調となる中、ユーロ売り・円買いが強まる場面もありました。ただ、日銀による大規模な金融緩和策が当面続くとの観測がユーロ・円を下支えしました。

期の後半は、日本の政府・日銀による為替介入への警戒感が強まったことや、ユーロ圏景気の弱さが意識されたことなどから、ユーロは対円で売られる場面がありました。その後は、ユーロ圏と日本の金融政策の方向性の違いが引き続き意識される中、ユーロ・円相場は底堅く推移しました。

ドイツ10年国債利回りの推移



ユーロ／円相場の推移



当ファンドのポートフォリオ

(2023年5月19日～2023年11月20日)

当ファンドは、主に「フランクリン・テンプルトン・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指した運用に努めてまいりました。また、原則としてBBB-/Baa3格以上の格付けの公社債へ投資し、ファンドに組入れる債券の平均格付をA-/A3格以上に保ち信用リスクの抑制を図る等、安定的な運用を目指しております。当ファンドの基準価額は、組入債券がユーロ建てで為替ヘッジを行わないため、ユーロ・円相場の変動の影響をそのまま反映しますが、ユーロベースの原資産は金利リスク（債券利回りの変動の影響を受けて、債券価格が変動するリスク）の低減に努め、安定性を重視した運用を行っております。当作成期の運用においては、引き続き高格付債券への投資比率を高位に保ちました。

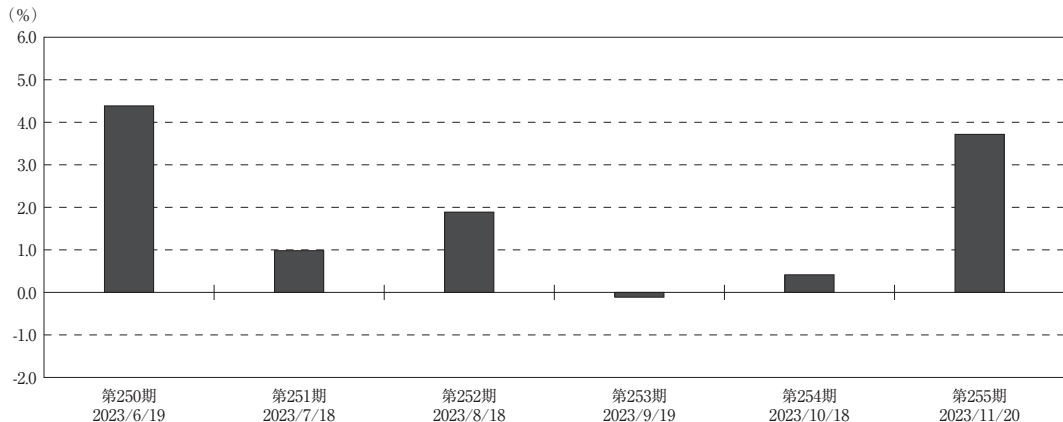
当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年5月19日～2023年11月20日)

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

基準価額（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

(2023年5月19日～2023年11月20日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第250期	第251期	第252期	第253期	第254期	第255期
	2023年5月19日～ 2023年6月19日	2023年6月20日～ 2023年7月18日	2023年7月19日～ 2023年8月18日	2023年8月19日～ 2023年9月19日	2023年9月20日～ 2023年10月18日	2023年10月19日～ 2023年11月20日
当期分配金	5	5	5	5	5	5
(対基準価額比率)	0.073%	0.073%	0.071%	0.071%	0.071%	0.069%
当期の収益	5	5	5	3	5	5
当期の収益以外	-	-	-	1	-	-
翌期繰越分配対象額	961	1,022	1,147	1,145	1,159	1,414

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドは、主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行うファンドです。今後も引き続き、組入債券の信用リスク、金利リスクに配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

お知らせ

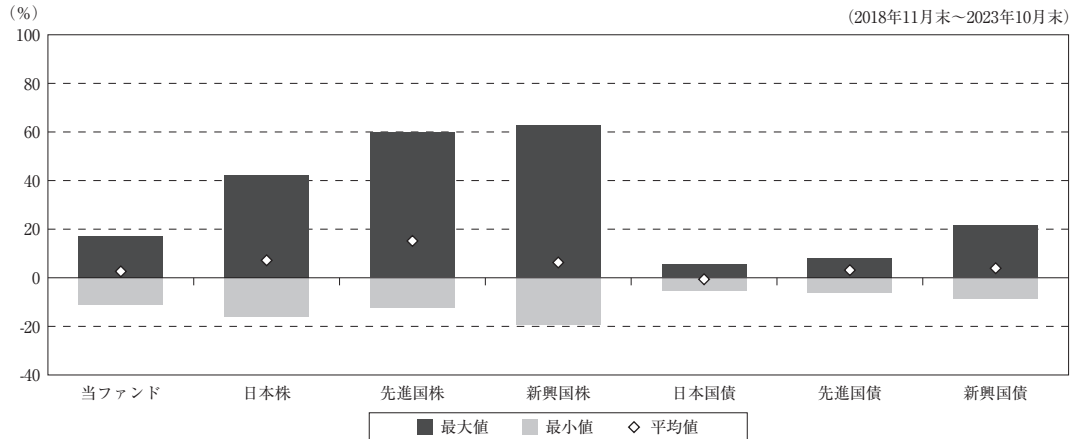
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	無期限（2002年6月18日設定）	
運 用 方 針	主としてユーロ建て債券に投資し、ユーロ短期金利を上回るインカムゲインを獲得することにより、ユーロ短期金利水準の分配を毎月行い、ユーロ原資産元本の安定した運用成果を目指します。	
主 要 投 資 対 象	当 フ ァ ン ド	「フランクリン・テンブルトン・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	フランクリン・テンブルトン・ユーロ短期投資適格債マザーファンド	主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券および資産担保証券等を主要投資対象とします。
運 用 方 法	当 フ ァ ン ド	株式（新株引受権証券等を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	フランクリン・テンブルトン・ユーロ短期投資適格債マザーファンド	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	決算日（原則として毎月18日、休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	17.2	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 11.0	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	2.6	7.2	15.2	6.3	△ 0.6	3.1	3.9

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年11月から2023年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(※) 各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

○代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年11月20日現在)

○組入上位ファンド

銘柄名	第255期末
フランクリン・templton・ユーロ短期投資適格債マザーファンド	100.1%
組入銘柄数	1銘柄

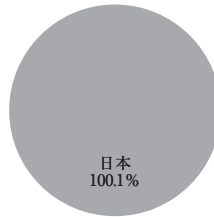
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

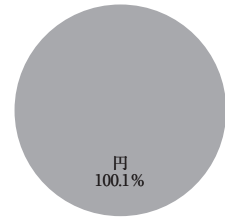
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

純資産等

項目	第250期末	第251期末	第252期末	第253期末	第254期末	第255期末
	2023年6月19日	2023年7月18日	2023年8月18日	2023年9月19日	2023年10月18日	2023年11月20日
純資産総額	1,948,578,900円	1,918,893,054円	1,905,924,845円	1,880,547,123円	1,879,112,913円	1,933,228,739円
受益権総口数	2,855,042,879口	2,786,288,936口	2,718,254,881口	2,686,960,455口	2,675,527,036口	2,656,050,290口
1万口当たり基準価額	6,825円	6,887円	7,012円	6,999円	7,023円	7,279円

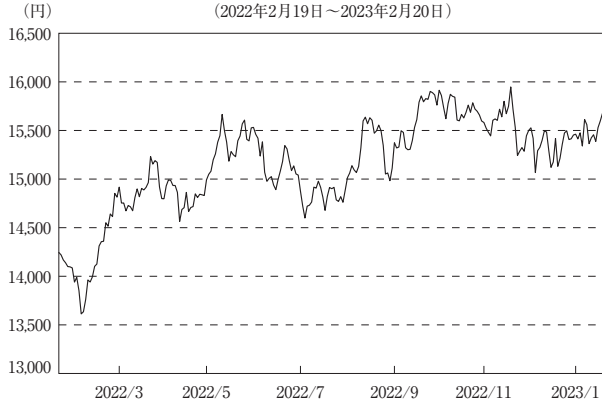
* 当作成期間（第250期～第255期）中における追加設定元本額は66,840,293円、同解約元本額は332,600,324円です。

組入上位ファンドの概要

フランクリン・テンプレトン・ユーロ短期投資適格債マザーファンド

【基準価額の推移】

(2022年2月19日～2023年2月20日)



【1万円当たりの費用明細】

(2022年2月19日～2023年2月20日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	1 (1)	0.005 (0.005)
(b) その他費用 (保管費用)	3 (3)	0.022 (0.017)
(監査費用)	(1)	(0.005)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	4	0.027

期中の平均基準価額は、15,162円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2023年2月20日現在)

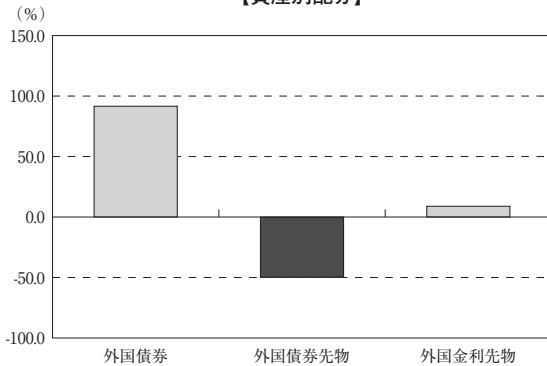
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	ドイツ国債(2年)2023.3限月	債券先物(売建)	ユーロ	ドイツ	49.7
2	EURIBOR先物 3カ月	金利先物(買建)	ユーロ	イギリス	8.9
3	MEDTRONIC GLOBAL HLDINGS 0.375% 2023/3/7	普通社債券	ユーロ	ルクセンブルグ	3.8
4	ALLIANZ FINANCE II B.V. 0.25% 2023/6/6	普通社債券	ユーロ	オランダ	3.7
5	SWEDBANK AB 0.25% 2024/10/9	普通社債券	ユーロ	スウェーデン	3.5
6	GOLDMAN SACHS GROUP INC 0.125% 2024/8/19	普通社債券	ユーロ	アメリカ	3.2
7	BANK OF AMERICA CORP 2.375% 2024/6/19	普通社債券	ユーロ	アメリカ	3.1
8	DANSKE BANK A/S 1.625% 2024/3/15	普通社債券	ユーロ	デンマーク	3.1
9	WELLS FARGO & COMPANY 0.5% 2024/4/26	普通社債券	ユーロ	アメリカ	3.1
10	HONEYWELL INTERNATIONAL 1.3% 2023/2/22	普通社債券	ユーロ	アメリカ	3.0
	組入銘柄数		38銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

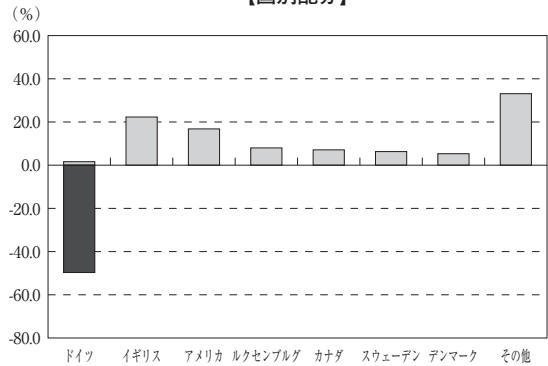
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

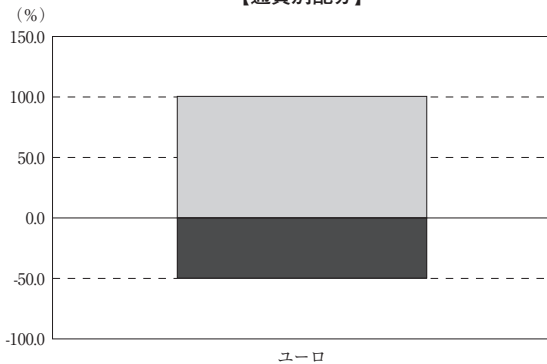
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 先物の比率は絶対値ベースで記載しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。